

PG10 【演習】 都道府県における協議 15:25～16:55 (90分)

(情報交換と各都道府県でのこれからについて)

進行 鈴木智敦 (名古屋市総合リハビリテーションセンター)

本日、学んだ内容

1. 政策最新の動向 I

- ①相談支援事業の現状 (40分)
- ②相談支援体制の現状と課題 (R 2 推進事業20分)

2. 政策の最新の動向 II

- ③防災・感染症対策 (30分)
- ④災害時避難行動要支援者の支援 (R 2 推進事業20分)

3. 政策の最新の動向 III

- ⑤就労支援の現状と雇用施策と福祉施策の連携 (30分)

4. 政策の最新の動向IV. V

- ⑥障害児支援・医療的ケア児 (30分)
- ⑦ヤングケアラー (30分)

5. 人材育成 (※明日以降もあるため本日の議論には含まない)

- ⑧効果的な人材育成の展開方法 (60分)

このプログラムのねらい（目的）

- ◇ 相談支援等関連事項について、最新の動向を学び、各都道府県や市町村における現状、課題、取り組み状況を確認する。
- ◇ 各都道府県において、今後、どのように取り組んで行くべきか、相談支援専門員の研修等でどのように取り上げるかなど、情報交換し検討ポイント等をあげる。
- ◇ 都道府県に戻り、検討の機会を確保し、具体的に取り組む。

このプログラムの流れの概略

進め方（90分） 15:25～16:55

- | | | |
|------------------------------------|---------|-----|
| ① 導入・説明 | 全体 | 5分 |
| ② 情報交換 | ブレイクアウト | 80分 |
| ・ 1～4までについて優先順位をつけ2つ選択・自己紹介含む（10分） | | |
| ・ 選択項目について情報交換と今後を話し合う（30分×2） | | |
| ③ まとめ | 全体 | 5分 |

3

情報交換（ブレイクアウト後）の進め方：都道府県単位

- 情報交換の進め方（概ねの流れ・時間配分）
（1～4のグループから2つ選択・必要に応じて自己紹介含む） 10分

- | | | |
|-----------------------|-----|-------|
| ① 各内容に関する各都道府県等の現状の共有 | 5分 | } × 2 |
| ② 意見交換 | 20分 | |
| ③ ポイント及び検討課題の整理 | 5分 | |

合計80分

※それぞれの講義内容ひとつひとつが重要な課題を含んでいるため、短い時間では議論を深めるところまでは困難である。

情報交換等をにより情報や課題を共有化するなかで、都道府県に戻って検討を継続し今後の取り組みに向けたきっかけとする。

※ 80分経つと（or終了残り5分になると）全体共有に切り替わります。
※ 指示がある場合はチャットを通じて行います。

4

1. 政策最新の動向Ⅰ（1～4のうち各都道府県での優先順位の高い方から二つ選択）

①相談支援事業の現状

②相談支援体制の現状と課題（R2推進事業）

① 各内容に関する各都道府県等の現状の共有（5分）

② 意見交換（20分）

③ポイント及び検討課題の整理（5分）

2. 政策最新の動向Ⅱ（1～4のうち各都道府県での優先順位の高い方から二つ選択）

③防災・感染症対策

④災害時避難行動要支援者の支援（R2推進事業）

① 各内容に関する各都道府県等の現状の共有（5分）

② 意見交換（20分）

③ポイント及び検討課題の整理（5分）

3. 最新の動向Ⅲ（1～4のうち各都道府県での優先順位の高い方から二つ選択）
⑤就労支援の現状と雇用施策と福祉施策の連携

① 各内容に関する各都道府県等の現状の共有（5分）

② 意見交換（20分）

③ポイント及び検討課題の整理（5分）

4. 最新の動向Ⅳ・Ⅴ（1～4のうち各都道府県での優先順位の高い方から二つ選択）
⑥障害児支援・医療的ケア児
⑦ヤングケアラー

① 各内容に関する各都道府県等の現状の共有（5分）

② 意見交換（20分）

③ポイント及び検討課題の整理（5分）

PG15 都道府県での共有・協議
15:15～16:35 (80分)

PG16 共有・まとめ・研修の振り返り
16:35～16:55 (20分)

進行 鈴木智敦（名古屋市総合リハビリテーションセンター）

後半2日間で、学んだ内容

1. 「ケアマネジメント基礎」コース（主に初任者研修）
2. 「地域づくり」コース（主に現任研修・主任研修）
3. 「人材育成」コース（人材育成体系・地域でのOJT等）
4. 「自治体職員」コース

このプログラムのねらい（目的）

- ①2日分の各コースの内容及び本日の自治体職員コースの内容で参加者が異なるためまずは情報共有が主たる目的
- ②今後の導入or検討課題、ポイント等を各内容ごとに上げておき、都道府県に戻ってからの具体的な検討・対応等につなげる。

このプログラムの流れの概略

進め方（100分） 15:15～16:55

1. PG15 都道府県での共有・協議（15:15～16:35：80分）

- ① 導入・説明 全体 20分

※各コース主担当講師からまとめ（ポイント）を全体に共有含む 12分（3分×4）

- ② 情報交換 ブ레이크アウト 60分（15分×4）

2. PG16 全体共有・まとめ・研修の振り返り（16:35～16:55：20分）

・戻りに5分程度

- ①各講師から
- ②全体のまとめ

11

情報交換（ブ레이크アウト後）の進め方：都道府県単位

●情報交換の進め方（概ねの流れ・時間配分）

- | | | |
|-----------------------|-----|---------------|
| ①各受講コース別報告・ポイント | 10分 | } 15分×4 = 60分 |
| ②質疑及び各都道府県へ戻って活かすべき内容 | 5分 | |

★ 4 → 1 → 2 → 3 の順番で実施

※それぞれのコース別内容は概ね2日間で実施しているため、ポイントを絞って報告をする。

※各都道府県へ戻って活かせる内容、今後検討すべき事をまとめる。

※60分経つと（終了残り5分になると）全体共有に切り替わります。

※指示がある場合はチャットを通じて行います。

12

4 「自治体職員」コース

① コース内容の報告（10分）

② 質疑及び各都道府県に戻って活かすべき内容（5分）

1 「ケアマネジメント基礎」コース（主に初任研修）

① コース内容の報告（10分）

② 質疑及び各都道府県に戻って活かすべき内容（5分）

2 「地域づくり」コース（主に現任研修及び主任研修）

① コース内容の報告（10分）

② 質疑及び各都道府県に戻って活かすべき内容（5分）

3 「人材育成」コース（人材育成体系・地域でのOJT等）

① コース内容の報告（10分）

② 質疑及び各都道府県に戻って活かすべき内容（5分）